

Tokyo Kasei Press

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

VOL.
94
2022.10

- 10 活躍する卒業生
- 12 グローバル教育センター
- 14 スタートアップセミナー-自主自律

- 08 連載「SDGsのゆくえ」vol.3 木活・木育でSDGsを考える
- 02 9女子大合同就活ゼミがスタート



東京家政大学のキャリア支援

東京家政大学・東京家政大学短期大学部は夢の実現に向けて努力する学生をサポートするために、多彩なキャリア支援プログラムを用意しています。コロナ禍でも、学生一人ひとりの希望に応じた支援をするために「対面」、「オンライン」、「対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型」でサポートしています。

就職決定率
※2022年3月卒業生実績(2022年5月1日現在)
 大学 97.3% 短大 97.3%

対面、オンライン、ハイブリッド型で一人ひとりのキャリアプランを支援

in 狭山

健康科学部
子ども学部

①就活本番へ向けた講座やセミナー

リアルタイム配信や対面形式で講座やセミナーを実施しています。プロの講師より、就活本番に向けての具体的な指導を行います。12月内定者報告会、1月OG懇談会、学内就職説明会も開催予定です。(学生向けシステムに講座の動画やレジュメを掲載予定)



②フレキシブルな形態での個別相談

学務課による就職活動に関する相談や履歴書添削など、一人ひとりの相談に細やかに対応しています。オンライン・TEL・対面を選択でき、学生に合わせてフレキシブルな対応を行っています。



③オンラインと対面の複合でじっくり面談

進路アドバイザーによる面談をオンライン形式と対面形式を複合させて実施中。進路や就職活動全般(応募書類や面接対策から活動方法等)に関して一人40分じっくり相談できます。(卒業学年優先、大学3年生も利用可能)



④先輩の体験記などを閲覧可能に

- 本学宛の求人
- 先輩たちの就職活動体験記(看護・幼保・公務員)
- 2022年3月卒業生の就職先情報



例)先輩たちのリアルな活動体験記を閲覧することもできます。



【在学生の皆さんへ】

「manaba」にある学年・学科別の就職支援コースから閲覧や申込みが可能です。

〈担当部署・内容問い合わせ先〉狭山学務部学務課
 電話：04-2952-1623
 メール：syusyoku-s@tokyo-kasei.ac.jp

in 板橋

家政学部 栄養学部
人文学部 短大

①対面オンラインによる講座・セミナー

講座・セミナーの動画やレジュメをmanaba(学生向けシステム)に掲載。空き時間を活用した視聴や繰り返しの視聴も可能です。

今後の開催予定

10月27日(木) 内定者報告会	11月10日(木) OG懇談会	12月・2023年1・2月 学内企業セミナー
---------------------	--------------------	---------------------------

②プロ講師による本番に向けた実践講座

プロの講師より本番に向けての具体的な指導を行います。面接実践・グループディスカッション実践(予約制)では対面かつ少人数制で「実際にやってみる」ことで、自分の得手・不得手を理解することができます。



〈主な講座内容〉面接実践/グループディスカッション実践
 面接マナー/企業情報の探し方等(全て予定)

③進路アドバイザーによる対面/オンライン面談

進路アドバイザーによる面談を対面/オンラインにて実施中。進路や就職活動全般(応募書類や面接対策から業界研究、活動方法等)に関して一人30分じっくり相談できます。(卒業学年優先、大学3年生・短大1年生も利用可能)

④過去の豊富な実績を学外からも閲覧可能に

- 本学(大学および短大)宛の求人
 - 先輩たちの就職活動体験記(企業・幼保・公務員・教員)
 - 2022年3月卒業生の就職先情報
 - 2016年度~2021年度の卒業生の就職先情報
- など、他にも就職活動に役立つ情報を掲載しています。

【在学生の皆さんへ】

「manaba」のコース名「2022キャリア支援課」から閲覧や申込みが可能です。

〈担当部署・内容問い合わせ先〉学生支援センターキャリア支援課
 電話：03-3961-2284
 メール：career@tokyo-kasei.ac.jp

入学前から卒業後まで 女性の一生をサポート

大学の枠を超えた9女子大合同

就活ゼミがスタート

観光・旅行業界や金融業界の新卒採用者数の減少や新卒採用の中止など、コロナ禍における学生の就職活動は厳しい状況にあります。

そんな中、9つの女子大学(津田塾大学・東京女子大学・学習院女子大学・実践女子大学・昭和女子大学・聖心女子大学・東洋英和女学院大学・和洋女子大学・東京家政大学)の大学3年生が、大学の枠を超えた仲間と力を合わせて就職活動に取り組む、9女子大合同就活ゼミが6月にスタートしました。

(問い合わせ先：学生支援センターキャリア支援課 03-3961-2284)

9女子大合同就活ゼミとは?

同ゼミは、コロナ禍の就職活動が急速にオンライン化する状況において、学生同士のつながりが薄れ、周囲の状況や動向がつかみづらいために、就職活動に対する孤独や不安を感じる学生をサポートすべく、都内の女子大学が立ち上げたものです。グループワークを中心とした各大学内でのゼミ活動や他大学合同での実践的なトレーニングを通じ多様な意見や考えを持つ学生同士が高め合いながら、新たな気づきを得ていきます。参加費用は無料、学内ゼミは対面、他大学合同ゼミはオンラインにて実施しています。

9女子大合同就活ゼミが目指す学生像

- 1 大学に過度に頼ることなく、自立して就活に向かうことができる
- 2 採用試験にて必須ともいえる、グループワークやグループディスカッションへの苦手意識を解消し、他者とのコミュニケーションをスムーズにとることができる
- 3 同ゼミの活動や、インターンシップを通じて、自身が企業で働くイメージを形成することができる
- 4 他大学の仲間ができることで不安が解消され、就職活動や社会で働くことに対してポジティブな感情を持つことができる
- 5 自分自身を過不足なく表現することができ、自信をもって就職活動を進めることができる

活動実績および今後の主な活動予定

大3前期	@ 学内	DAY1 ゼミの目的・ゴールや自己紹介の極意を学ぶ	@ 学内	DAY4 夏のインターンシップで貰ったES(エントリーシート)、本選考で通過できる状態を作ろう!
	@ 9女子大合同	●グループディスカッション練習会(12コマ) ●若手女性人事担当者との交流会(10社程度) ●BtoB・中小企業による企業説明会(10社程度) ●公開講座:IR(インベスター・リレーションズ)の見方など	DAY5 苦手意識の強い面接・GD(グループディスカッション)、人事が評価するポイントってどこ?	
夏休み	@ 学内	DAY2 インターンシップに向けて!これを学べば恐くない! DAY3 いよいよ後期開始!これからの就活何をしたら良い??	@ 9女子大合同	●人事担当者との交流会(10社程度) ●人事担当者による面接練習会 ●人事担当者によるグループディスカッション練習会 ●BtoB・中小企業による企業説明会(10社程度) ●公開講座 ●学生自主企画勉強会
		@ 9女子大合同	●ゼミ生限定インターンシップ ●学生自主企画勉強会	参加学生の声 初めて自分の書いたESを人に見せたので緊張したが、それ以上に得るものが多かった。他の人のESを見て学ぶことも多く、早速自分のESを改善していきたい。 不安や悩みを共有して、それについて話し合いができた。少しの時間で成長出来ることを実感できました!



緑苑祭

in 狭山キャンパス

<開催日時>
10月23日(日) 10:00~16:00

<テーマ>
自由奔放
— 一心のままに全力で! —

3年ぶりに 対面開催します!

in 板橋キャンパス

<開催日時>
10月22日(土) 10:00~16:00
10月23日(日) 10:00~16:00

<テーマ>
再出発
— 新しい旅へ —



板橋緑苑祭オリジナルキャラクターりょっくん



<主なプログラム>

- 参加団体のステージ発表
- 各学科の企画
- 芸能人トークショー
- お笑いライブ
- 校内スタンプラリー (景品もあります!)
- ポッチャ体験
- 自衛隊・警察・消防の体験企画

◎当日はキッチンカーでのフードの販売、学食も開放していますので、ぜひご利用ください!



狭山キャンパスオリジナルキャラクター
かせいのモリタン(左) かせいのモリリン(右)

<主なプログラム>

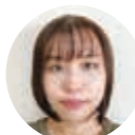
- **Beauty lab**: プロのメイクさんによるメイク講座とヘアアレンジ・メイクサービスを行います!
10月22日(土) 就活メイク 10月23日(日) 秋メイク
- **カセラジ!!**: 緑苑祭 YouTube で、高校生や新入生に向けて、東京家政大学の魅力や、大学生活をより充実させるための情報をお届けします!
- **りょっくん事務所**: りょっくんとは、緑苑祭のゆるキャラです。当日はりょっくんの写真撮影やグッズ販売などを行っています!是非りょっくに会いに来てください!
- **芸能人トークショー**: 今年もイケメン俳優さんや旬な芸人さん、声優さんが出演! (学内限定)
- **Best of Kasei**: Best of Kasei とは、「今年最も輝いている家政大生」を決めるコンテストです! 昨年まで開催していました「ミス・ミスターコンテスト」を時代の変化と共に進化させ、「容姿が優れている人を選ぶ」といったイメージを無くすことを目指しています。
- **at ラクター**: 3つの企画を実施します。
 - ① ランキング 参加団体の投票をしています! 後夜祭で結果発表!
 - ② スタンプラリー スマホを使った新感覚のスタンプラリー
 - ③ 黒板アート 今年度からの新企画! フォトスポットとして展示しています!

第9回緑苑祭(狭山)
特設ホームページ



(お問い合わせ)
狭山学務部学務課
04-2952-1626

緑苑祭実行委員長からのメッセージ



狭山緑苑祭実行委員長
長谷川 愛海

こんにちは。狭山緑苑祭実行委員長の長谷川です。
今回第9回となる狭山緑苑祭、念願の3年ぶりの対面開催ということで、4月から実行委員一同、授業の合間や夏休みを活用し、一生懸命準備に取り組んで参りました。開催にご尽力いただいた関係者の皆様、実行委員に心より感謝申し上げます。

サークルや有志団体の発表、各学科による企画はもちろん、ポッチャ体験企画、自衛隊・消防・警察の方々のご協力による車両や制服着用体験、毎年人気の芸能人トークショーやお笑いライブなど、盛りだくさんでお届けします。小さなお子さんから大人の方まで、テーマのとおり「自由奔放」に楽しめること間違いなしです!今年度は緑苑祭で初めて板橋緑苑祭実行委員会と連携し、りょっくんとモリタン・モリリンのコラボグッズが実現いたしました!!是非ゲットしてください!

徹底したコロナ対策を行い、在学生の皆さん、いつもお世話になっている地域の皆さん、本学に興味を持っている高校生の皆さんなど、たくさんの方のご来場を心よりお待ちしております。

第62回緑苑祭(板橋)
特設ホームページ



(お問い合わせ)
学生支援センター学生支援課
03-3961-2079

緑苑祭実行委員長からのメッセージ



板橋緑苑祭実行委員長
綾部 結

皆さんこんにちは!板橋緑苑祭実行委員会委員長の綾部です。今年は3年ぶりの対面開催ということもあり、実行委員一同当日に向け一生懸命準備をしています!

サークルや有志団体の発表等はもちろん、昨年好評だった、家政大の魅力を発信する動画「カセラジ!!」の配信、黒板アート展示、板橋緑苑祭のゆるキャラ「りょっくん」のグリーティング、芸能人のトークショーなども企画しています。また、例年行っていましたミスコンはBest of Kaseiとして、出場者の日々の活動を披露する場や成長の機会となるような、新たなコンテストの形を目指しています。さらに、今年は初めて狭山緑苑祭実行委員会とコラボを実現、板橋・狭山のゆるキャラコラボグッズが完成しました!!ここでしか手に入らないグッズですので是非ゲットしてくださいね!

悲願の対面開催、徹底したコロナ対策の上、今年の緑苑祭のテーマ「再出発—新しい旅へ」のもと、楽しく新しい緑苑祭の旅へと皆さんをご招待いたします!ご来場を心よりお待ちしております。



連載

SDGsのゆくえ

SDGsのゆくえ vol.3 木活・木育でSDGsを考える



子ども学部子ども支援学科
学科長 保坂 遊

2022年7月11日、子ども学部子ども支援学科の授業の一環として、狭山キャンパスが所在する埼玉県西部地区特産の「西川材」の『木活』に着目しつつ、幼児教育・保育の観点から『木育』を取り入れた学生主体のワークショップを実施しました。

同ワークショップは、西川バウム合同会社の間伐材レンタルシステムを活用して、学生が主体となり、学内認可保育園「かせい森のおうち」の園児たちと一緒に楽しく遊びながら、本物の無垢の木材の魅力を感じられるような保育活動を企画したものです。



「かせい森のおうち」の子どもたちとアスレチックづくり

林業の深刻な課題と地域の取り組みを目的に、次世代の環境保全へ役立ちたい

同ワークショップは、TJUP（埼玉県東上地域大学教育プラットフォーム）の地域連携事業として、本学が2019年度より駿河台大学との共同研究「埼玉県西部地域活性化に向けた地元木材資源（西川材）の活用研究」を行っていたことが発端です。わたしはこの共同研究のなかで、主に木製おもちゃの開発を行っていましたが、国内の林業の深刻な課題、とりわけ狭山キャンパスが所在する、埼玉県西部地区の林業の実態と山林の活性化のための地域の取り組みを目的にしました。①本学としても、学生を含めて地域のために、次世代への環境保全へ何かお役に立てないかと考えたことが同ワー

クショップの着想のもとになりました。もともと子ども支援学科では芸術表現や文化活動と幼児教育・保育を結び取り組みを、学生とともに考えるという授業展開をしているということもあり、「子ども芸術1（子ども美術）」の授業の一環として、木活と木育について学び、学生が主体的に活動計画をたて、ワークショップ実践を行うプログラムを実施することになりました。②

木材の魅力を保育にどう活かすべきか
学生自らの教材制作に感動

同ワークショップを実践するにあたっては、林業の実態と課題を知るために、「子ども芸術1（子ども美術）」の授業内で、埼玉県飯能市を中心に、木材活用の活性化に取り組んでいらっしゃる、西川バウム合同会社の浅見有二代表をお招きして、講義をしていただきました。講義テーマは「山と街を人と自然でむすび、木を活かし木と生きる」。山林の実態や、環境保全のために「間伐材」というメンテナンスが必要であること、「間伐材」の有効利用が林業の課題であることなど、山の未来を明るくするため取り組みについてお話しいただきました。③この講義は、林業についてのみならず、その香りや肌触りなど、天然の無垢の木材が持つ、五感で感じる魅力を保育にどう活かしてゆかか、また子どもたちにどのように伝えるかということも、学生自身が主体的に考えるきっかけになったと思います。

一方で、授業内のグループワークでは、学生同士で意見を出し合い、キャンパス内にある雑木林で、子どもたちに向けてどのような遊び場を作ればよいかを計画立て、木工具などを使いながら、当日に向けた教材準備を進めてゆきました。子ども支援学科は保育者養成の学びの中で、造形表現に関する演習授業が多く開講されており、学生のものづくりに対する基本的な姿勢が、2年生で培われています。同授業は

3年次開講の選択科目で、基本的に造形美術が好きで学生が履修していました。最近では電動工具も充実しているので、ところどころ手作業を進めるなどの時間をかけても、学生たちは運木作業を進めていきました。私たち教員は大きな板の切断や穴開けなど、最低限のサポートはしましたが、子どもたちが教材を手にとっても安全に遊べるような配慮や工夫など、学生同士がお互いに知恵を出し合いながら、ほとんどの制作を自らで成し遂げたことには正直とても驚きましたし、また感動しました。

間伐材レンタルシステムを活用 木の香りや肌触りはセラピー効果も

そして7月11日、学内認可保育園「かせい森のおうち」の3〜5歳児を招いて「森を遊ぶ」をテーマにワークショップが行われました。「子ども芸術1（子ども美術）」の履修者42名が、それぞれ3グループに分かれて、子どもたちとアスレチック、音楽遊び、おもちゃづくりなどを楽しみました。

このワークショップでは、西川バウム合同会社の間伐材レンタルシステムを活用しました。レンタルシステムでレンタルした丸太や角材などを活用したサーキットや、木の車のおもちゃやアスレチックづくりなど、各グループが趣向を凝らして、子どもたちが木の魅力に触れながらも、楽しんで遊べる保育内容を実施していました。子どもたちも、森の中を自由に駆け回り、木に触れる体験を楽しんでいる様子でした。

この間伐材のレンタルシステムですが、西川バウム合同会社が行っている、「木を活かす、木と生きる」（木活）をテーマとして、山林から採れた「間伐材」の有効利用として、製材したてのみずみずしく香りの高い自然材の「柱ベンチ」等を木材の流通サイクルとして、レンタルやサブスクリプションの方式を取り入れ、地域、行政、民間等に提供するシステムです。製材した木材は、約半年で乾燥が進み、製品化



木片でつくったおもちゃ

幼少期の体験は「原風景」 次世代への伝承者として 子どもたちに何を伝えるか、

木育の一つの効果として、子どもの心を豊かにすることがあります。同ワークショップにおいて、あるグループでは、未完成のアスレチックを子どもたちに提示して、子どもたちと学生と一緒にアスレチックを考えながら完成させる、という活動を行っていました。その活動の中で、子どもたちが重い木材を持ち上げて丸太を何段も積み、またその上を軽々と飛んだり跳ねたりしながら渡ってゆく姿を見ていて、自然の中、そして木材といった自然物の環境が、こうした子どもの優れた適応能力や創造性を発揮させるということを実感しました。ま

しやすくなるので、劣化が少ないうちに、要望があれば交換してくれます。こうして早期に間伐利用の巡回サイクルのスピードを早めて山の活性化を図るのが目的ともなっています。これによって、「燃やしても総量は増やさない」CO₂の固定化（カーボンニュートラル）に貢献できるシステムが施行されています。加えて、利用者が常にみずみずしい天然の木の香りや肌触りの魅力を感じることができ、セラピー効果も期待されます。

た、学生が作った環境の中に、木片をいくつも紐にぶら下げたものがありました。木片に触れながら走り抜けると、ぶつかりあってカラカラと音が響きます。あるお子さんがこの木片の感触や音の響きを楽しんでいました。そのうち、森の中で鳴り響くその心地よい音色に、他の子どもたちも集まってきて、子どもたちが木の魅力を感覚的に体に染み込ませているように感じました。

子どもたちに向けた環境づくりでは、安全性の配慮はもちろん必要です。しかし、大人が設定した環境の中だけで遊ぶのではなく、子どもが感じ、考えたことを尊重して、また寄り添いながら、子どもの喜びを共有する姿勢。これが保育者を目指す学生には必要です。

幼少期の体験は「原風景」として、その後の人生に意識的・無意識的に影響を与えるものだと思います。自然物に触れる機会は残念なことには減り続け、わたしたちの周りは人工物で溢れかえっています。幼少期より木材に触れ、その温かみや香りを、どれだけ身体を通して感じてきたか。おそらく大人になったときに、その体験が自然に対する魅力やなつかしさを再発見することにつながるのではないのでしょうか。教育者や保育者は、次世代への伝承者としての役割も担っています。自然の豊かさや魅力、大切さを次世代に伝えなければ、環境保全の意識は引き継がれていかないでしょ。子どもたちに何を伝えていくべきか？その環境設定を考えることがわたしたち大人の責務だといえます。保育者を目指す学生の皆さんには、ぜひこうした意識を高く持っていたきたいと願っています。

SDGsを身近で具体的な問題として捉える そして実行、参加していく

SDGsは大きなアジェンダですが、一方で抽象的な概念でもあります。これをいかに自身

の身近で具体的な問題として捉え、実行、参加できるかが課題となってきます。例えば、本活動は目標4（教育）、目標13（気候変動）、目標15（陸上資源）といったアジェンダに関わると思いますが、より具体的な「埼玉県西部地区の山林問題」「間伐材の活用によるカーボンニュートラル」「保育の中で次世代に伝える自然環境の魅力」といったケースを通して学ぶことにより、よりリアリティを持った意識や理解として、また違う視点から捉えなおすことができましたのではないかと思います。学生の自然体験が年々少なくなっている中で、保育者養成という教育において、このようなワークショップを行うことは、次世代の子どもたちに木の魅力や大切さを伝える意義を改めて考える、重要な契機になったと思います。

〈注釈〉

① 森林は木材の生産、水源の涵養、土砂災害の防止、生物多様性の保全、快適環境の形成など多くの機能を持っていますが、間伐などの手入れ不手や野生動物の被害などにより、一部の森林に荒廃が見られ、森林の持つ機能が低下が懸念されています。また、近年の木材価格の低迷等により、林業経営意欲が低下し、林業従事者の減少が高齢化が課題となっています。

② 木活とは、その名の通り「木材を活かす」こと。前掲の西川バウム合同会社も会員となっており、埼玉県の西川林業地で生産される木材、通称西川材の販売などのほか、森の保全を推進する活動を行っている。NPO法人西川・森の市場による、木活とは「木と一緒に暮らす」ことを提案、森に関する課題を自分ごととし、木材の消費を増やすことで、森を守る活動」であるといえます。

③ 木育とは、平成18年度9月に閣議決定された、「森林・林業基本計画」において、「市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、多様な関係者が連携・協力しながら、材料としての木材の良さやその利用の意義を学び、木材利用に関する教育活動」が定義されています。

④ 間伐とは、森林の混み具合に応じて、樹木の一部を伐採し、残った木の成長を促す作業です。これにより、森林の有する機能（水源の涵養、土砂栽培の防止、生物多様性の保全など）が促進されます。

活躍する卒業生

相澤 菜穂子さん (家政学部栄養学科卒業)

有限会社あいね 代表取締役 管理栄養士・食育料理研究家 東京家政大学非常勤講師(食育)



北海道釧路市出身。1987年に本学家政学部栄養学科を卒業後、食品会社に勤務。食品会社退社後は北海道で農業を学びながら日本食推進シンポジウムや料理講習会を各地で行う。2004年に東京でワクワク食育教育を設立、食育料理教室や食育ツアー、講演活動を各地で開催。2006年に有限会社あいねを設立し、食育教育運営・指導業務のほか、飲食チェーンや食品メーカーなどのメニュー開発や人材育成業務を行っている。

本学家政学部栄養学科で学び、現在も「食」そして「食育」に関わる仕事に多数関わっており、母校である本学でも教鞭をとっている相澤さん。相澤さんの東京家政大学での学生生活と起業までの道のり、そして現在の活動をご紹介します。

北海道から上京して大学へ 強豪スキー部に入っていました…

相澤さんが東京家政大学を目指したのは「食に関係する仕事に就きたい」と考えるようになった高校生のころ。はじめに相澤さんが考えたのは、将来は栄養士が調理師になる活動をご紹介します。

西アフリカのコートジボワールへ 魚の「すりみ」で 女性のエンパワーメント

そして相澤さんの「日本の食生活のすばらしさ」を伝える取り組みは国内にとどまりません。近年では、西アフリカのコートジボワールの女性に、日本の魚加工技術「すりみ」を紹介するプロジェクトにも参加しています。



コートジボワールでの実践販売の様子

なることでした。まずは栄養士になることを目指し、進路を模索していたところ、家庭科の授業で指導を受けた先生が、東京家政大学の卒業生であることがわかりました。先生に今後の進路について相談し、「東京家政大学は歴史もあり、とてもよい学校だから」と勧められたことが大きな後押しになり、東京家政大学への進学を決めることになりました。

北海道釧路市で生まれ育った相澤さん。大学生活は親元を離れて上京することから始まりました。当時は親元を離れることへの不安より、大都会東京へのあこがれや興味のほうが勝っていたといいます。休日は雑誌やテレビに出てくるような場所やお店をめぐる、人気のカフェや飲食店でのアルバイトも経験しました。

一方で大学ではスキー部に所属。当時のスキーブームに乗って、「もう少し上手になりたいな」「ワイワイ楽しめるサークル活動をしたくない」という軽い気持ちで入部しました。ところが、スキー部は学生大会で優勝するほどの強豪チーム練習や上下関係も厳しく、相澤さんは「こんなはずではなかった」と何度も思ったそうです。そんな中でも続けることができたのは、同期の仲間たちの存在であったと言います。「一緒に練習に励んで、悩みも相談しながら長い時間を過ごしてきた仲間たちとの絆にはすいぶん助けられました」

このプロジェクトへの参画も、本学との縁によるものでした。「この活動を行っているNPO法人海のくまに、日本の理事長である白石ユリ子氏は、東京家政大学ヒューマンライフ支援センターの内野美恵准教授とともに、以前からアフリカでの支援活動を行っており、わたしの授業のゲストスピーカーとしてもお越しいただく機会がありました。そのご縁と内野先生のご推薦をいただき、わたしも参加させていただくことになりました」

日本から遠く離れた西アフリカのコートジボワールですが、魚をこよなく愛するところは日本ととても似ています。コートジボワールでは、一般的に尾頭付の魚一尾を調理して食べることを好むため、小魚は需要が少なく、冷蔵管理もできないために廃棄されることが多いそう。「小魚を利用することで、SDGsでのフードロスを解消することができそうですし、いわしやあじを使うすりみ加工は女性のエンパワーメントになると考えました」と相澤さんは言います。

現地で行ったワークショップでは、女性達を集めて、食育の重要性や魚の栄養と健康について学ぶことから始まりました。そして、すりみの調理実習、販売のためのマーケティングを行った後、街頭で実践販売を行います。相澤さんはすりみのメニュー作りと調理実習を担当しました。相澤さんが現地に行く前に最も悩んだのは、味に保守的で新しいものはあまり受け入れられないアフリカ人に対して、どのように調理をすればすりみを喜んで食べてもらえるのか、その料理や味を決めることだったといえます。しかし、コートジボワールでの料理の味付けは基本的に塩のみ。日本のような味噌や醤油といった特徴的な調味料を使わないことは幸いでした。「すりみ料理は現地でも好ま

た。この絆は私の宝物です」

営業と栄養士の二刀流 葛藤を抜けて農業の道へ

大学卒業後は食品卸会社の明治屋（現三菱食品）に就職。北海道札幌支店に配属され、営業職としてベビーフードを担当しました。2年目からは大学で得た栄養士の資格を活かし、ベビーフードの営業兼栄養指導の担当になりました。週のうち3日はパートや病院の小児科を訪問し、お母さんや赤ちゃんへの食事相談を行いました。北海道全域を営業車で走り回る日々。営業と栄養士の二刀流はスタミナが必要とされましたが、それぞれにやりがいを感じていました。

食品会社での仕事にやりがいを感じていた相澤さん。ところが10年間の食品会社勤務後に農業の道に進むことになりました。理由は大きく2つ。1つは食品業界の現状に疑問を抱き始めたこと。「食品業界は毎日のように新製品が出ては消えていく世界です。せっかく作られたものが大量に捨てられている現実を目の当たりにして、本当にこれだよいかと思うようになりました」

そして2つ目は食品会社で任されていた栄養士の仕事を通して、自分自身の「食」への理解が不十分であると感じたことでした。「5大栄養素の摂取量を知らせることが栄養士の仕事の主体となり、肝心の食生活については伝えられていないのでは」と思いました「そのような葛藤の中で、相澤さんは気づきます。「わたしが伝えたいのはやはり健康的な食生活のこと。さらに日本人にあった食生活ではないか」

気がついたら会社を辞めていた(笑)という相澤さん。退職後は、以前からつくる野菜の美味しさに感動していた、北海道恵る軟らかさにし、辛みの効いた味にアレンジしたことで受け入れられました。心配したのはすりみ作りを使用するすり鉢です。すりみ作りにふさわしい器具がなければ、すりみを気軽に作りたいと思ってもらえないのではないかと不安でした。日本からは大きなすり鉢を持参しましたが、現地のマーケットを巡った時に、トマトや玉ねぎを粗くすりつぶす、タリエと言われる調理器具を見つけて、それがすり鉢の代わりになりました。もしも、タリエが無ければ違うメニューになっていたかもしれません」

食材も調理器具も、現地にあるものでどこまでできるのか試行錯誤の日々。そんな中で、現地のサポートスタッフ、アミさんとジュリエットさんが相澤さんに協力してくれました。「言語の壁を越えて、一緒に料理を考える時間は新鮮な驚きと喜びの連続でした。アフリカ人も日本人も同じ人間同士だと実感しました」と相澤さん。そして3人で試行錯誤しながら決めた料理はすりみハンバーグ、2種類のスープ、すりみを具にしたパンでした。続く調理実習になると、参加している女性たちは、魚の扱いに慣れており、調理が手早く上手。出来上がった料理はとても好評でした。

そして街に繰り出し、実践販売の日を迎えます。試食を持って道行く人に声をかける女性たちの顔は、一気にビジネスウーマンに早変わり。押しが強い彼女たちのパワーに圧倒され、商品はあっという間に完売しました。彼女たちの中には、実践販売で手ごたえを感じ、翌日には早速自分ですりみハンバーグを作って販売したという人もいました。良いと思えば即行動のコートジボワールの女性たち。彼女たちの中には一人、沢山の家族を養っている方、職を失い一日一食という方もいました。しかし、過酷

庭市のグロバー自然農園で働きます。グロバー自然農園で過ごした2年間のうち、相澤さんは別の農園でも2年間働きます。この農園はオランダから輸入した大型ガラスハウスと最先端のIT技術を駆使し、甘味と酸味のバランスのとれた、かつ栄養価もある高糖度トマトを栽培する農園でした。野菜の栽培方法はちがっていても、どちらの農園の経験からも、野菜本来の美味しさを引き出す考えや技術を学ぶことができた相澤さんはいいます。

農業と直結した食生活を伝えたい ワクワク食育教室、 有限会社あいねの立ち上げ

この農業経験から「農業」に大きな魅力を感じたものの、相澤さんの目標は農業そのものではなく、「農業と直結した食生活を伝えること。そして日本の食文化を守る農業を応援すること」であると実感します。そして栄養士の仕事を再開、2004年にワクワク食育教室を立ち上げました。ワクワク食育教室では、食への興味と食べる力を養うことを目的として様々な活動を行っています。例えば料理教室や、わたしたちに届くまでの食べ物へのルーツをたどるような食育体感ツアーなど。ワクワク食育教室を通して「日本の食生活の素晴らしさや旬の食べものの美味しさ、そして四季折々の歳時記も伝えていきたいと思っています」と相澤さん。

2006年、相澤さんは有限会社あいねを起業。今年で16年目となります。それまでは相澤さん個人として、企業のメニュー作りなどを請け負っていましたが、契約上、法人格があったほうが社会的な信頼度が高まると考えた末の決断でした。同社の主な

意欲ある若い人ほど道は通じる 実際に自分の目で見る、体験する

大学生活から今まで、一貫して「食」に携わってきた相澤さん。後輩、そして高校生、大学生に向けてアドバイスをいただきました。「意志あるところに道は通じる」と言います。どんなことでも、何か関心や興味があるものがあれば、まずはそれがどんなものなのか、実際に見たり、体験したりして欲しいです。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、何事も最初は知らなくて当たり前、できなくて当たり前。実際に自分の目で確かめて、体験してどう思うのかを知ることが、自分自身は何が好きで、何が苦手なのか気づくことができます。わたしは失敗も、そして苦手なことも経験してきましたが、どんな経験もいつか役に立つと信じています。できる、できないを考えるよりも、実際にやってみることはとても大事です。

もしも、やりたいことがわからないのであれば、何か簡単なことを1ヶ月だけでも続けてみてはどうでしょうか。朝起きて一杯の水を飲む、元気に挨拶をする、掃除をするなどなんでもよいです。継続することで自分自身に変化があり、さらにもっとしたいと思えることが見つかるかもしれませんよ」

【英語力測定テストに向け、+1 勉強法】 《英語学習プランニング》

後期からでも間に合う!!!

英語学習プランニングではeラーニングを提供している株式会社アルクの英語学習アドバイザーが、皆さんの英語学習の相談に乗ってくれます。

- ・初めてのTOEIC® 受験に向けた対策方法は？
- ・スコアを〇〇点まで上げたいがどうやって勉強すればいいか？
- ・おすすめの対策本は？
- ・そもそも英語があまり好きではないがどうしたらいいか？

英語学習プランニングは何度でも受講できます。定期的に相談することで、自分の英語力がどう変化しているかを感じることが出来ます。過去には、定期的に相談をしながら、一生懸命に勉強して1年間でTOEIC® のスコアを300点近く上げた学生さんもいます。ぜひ、英語力測定テストに向けて積極的に利用してください！

《TOEIC® 対策講座》

TOEIC® 対策講座では学内の講義室で行われる、3回の集中講座で、就職に有利となるスコア600点を目指します。問題の傾向を含む最新の情報や、公式問題集を使いリスニングとリーディングをパート別に対策し、さらにテストの時間配分についてなどを経験豊富な専門の先生が詳しく教えてくれます。

すべての講座に出席すると、講座終了後に実施されるTOEIC® IPを無料で受験することができます。対策講座で得た知識を実践に生かすことのできる、またとないチャンスです。

もう少しで目標に到達する方は、この機会を利用しスコアアップを目指してみませんか？

【TOEIC® 関連情報】

《英語学習奨励金》

本学ではTOEIC® スコアに応じて、奨励金の給付をおこなっています。奨励金は在学中1度のみ申請可能ですので、ぜひチャレンジして奨励金を獲得してください！

①TOEIC® L&R (IPテスト含む。ただしIP (オンライン) は不可) において800点以上を取得した学生に30,000円を給付する。

②TOEIC® S&Wにおいて300点以上を取得した学生に30,000円、もしくはTOEIC® Speakingにおいて150点以上を取得した学生に15,000円を給付する。

※英語力測定テストはIP (オンライン) での受験となり、このスコアは対象外です。そのため、奨励金申請時には学内にておこなわれるTOEIC® Listening & Reading IPテストスコアもしくは、公開テストのスコアが必要です。

《TOEIC® Listening & Reading IP テスト》

年に5回程度TOEIC® Listening & Reading IPテストを実施しています。受験料が公開テストの約半額と経済的なため、TOEIC® を初めて受ける人、受験回数を重ねてスコアをUPしたい人、自分の英語力を把握したい人にお勧めです。

最近IPテストのスコアも公式のスコアと認める企業も多くなってきました。TOEIC® の高スコアは必ず就職活動や正課外活動で皆さんの強い武器となります。目標スコアを目指して受験してみましょう！

申込はグローバル教育センターmanabaをご確認ください。

受験日：10月16日 (日) (申込期間：9月12日 (月) ~ 9月27日 (火))

受験日：12月24日 (土) (申込期間：11月14日 (月) ~ 11月30日 (水))

受験日：1月31日 (火) (申込期間：12月19日 (月) ~ 1月12日 (木))

予告 後期イベント情報 詳細についてはmanabaやポータル等でお知らせしますので、チェックしておいてください！

◆10月20日 (木) インターナショナルカフェ
本学留学生の国の文化について教えてもらいながら交流するイベントです。

◆11月10日 (木) 異文化理解講座
異文化理解について学びます。

◆11月17日 (木) 国際料理教室
本学留学生の国の料理を皆で作ります。

◆2023年春 海外研修再開予定 (一部のみ)

東京家政大学グローバル教育センター

2022年度 英語力測定テスト

東京家政大学・東京家政大学短期大学部では、全学生の在学中の英語力向上を図る試みの一環として、TOEIC®テストを用いた継続的な英語力測定を行っています。

受験を通して、皆さんの前後期の英語授業や日頃の自主学習の成果を確認し、英語学習における新たな目標設定、学習方法の見直しの機会につながることを期待しています。

板橋キャンパス16号館2階

開室時間：平日 9時から17時

土曜日 9時から12時

問合せ：03-3961-1861

◆ テスト形式

TOEIC® IPテスト(オンライン)

※オンラインテストのため、受検場所等は自身で設定可。

◆ 受検期間

2022年11月25日(金)~11月28日(月)

※この4日間の内に1回受検

【所要時間：90分程度

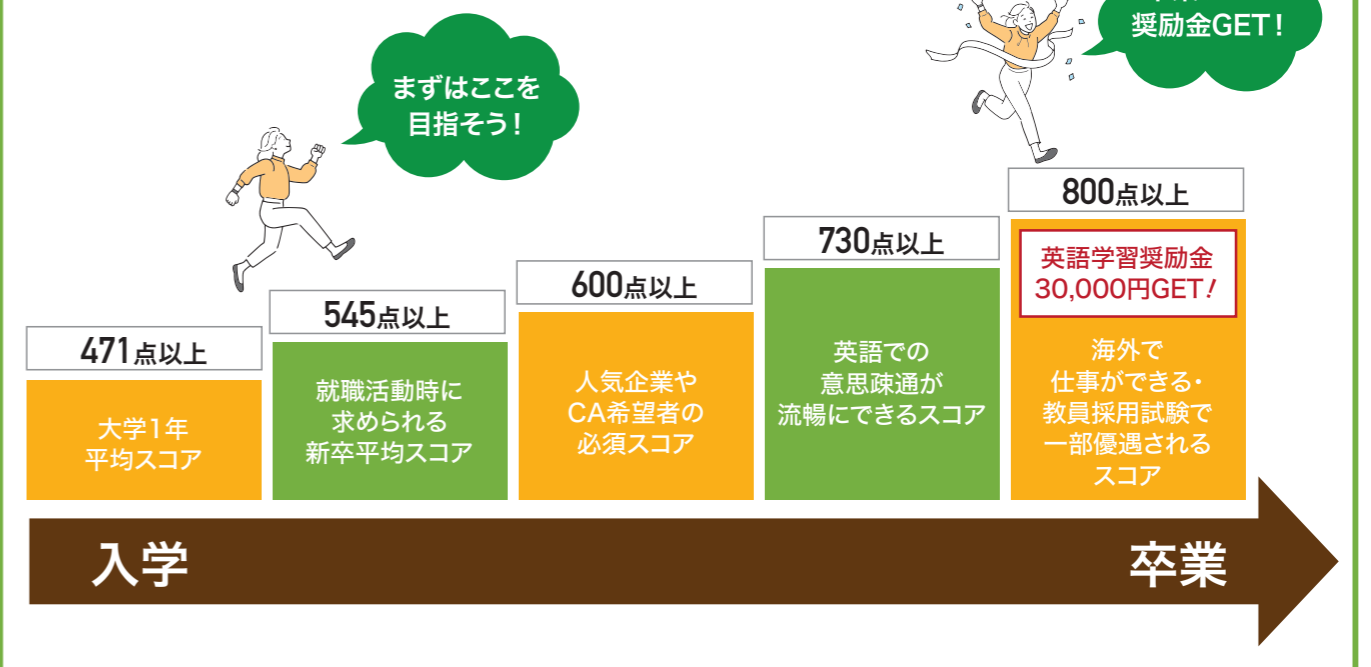
(事前アンケート+試験時間約60分)】

◆ 対象者

東京家政大学・東京家政大学短期大学部1年生、2年生、3年生

※英語コミュニケーション学科の学生を除く
英語コミュニケーション学科の学生は同期間に「アチーブメントテスト」を受検しますので、問い合わせ等は学科をお願いします。

★TOEIC® 活用ステップ★



スタートアップセミナー 自主自律 (板橋キャンパス大学1年次必修科目)

学科横断のアクティブラーニング型授業 開講から4年



英語コミュニケーション学科 2年 吉田京加さん
令和4年度スタートアップセミナー自主自律において、SAをつとめた吉田京加さんにSAの活動について話を聞きました。

「スタートアップセミナー 自主自律」とは

板橋キャンパスに通う1年生(家政学部・栄養学部・人文学部)が「東京家政大学」での4年間に、「愛情・勤勉・聡明」にもとづいた生活を創り、



「自主自律」の生き方ができる人として成長するための基礎を築く(シラバスより抜粋)ことを目的とした自校教育科目(自分が通う大学の精神や歴史、社会的な役割などについて学ぶ科目)です。

異なる学科の学生同士5名程度のグループでの活動を主体とした授業計画となっており、大きく分けて前半と後半の2つのパートに分かれています。前半では、東京家政大学の原点とその歴史を確認し、それを踏まえた本学の未来を考え、後半は「社会に関する今日的課題」を取り上げ、その解決策の提案に、チームで協同して取り組みます。

※科目の詳細はホームページ(下記QRコード)にも掲載されており、ぜひご覧ください。



SA(スチューデント・アシスタント)に聞いてみました!

Q SAをやってみようと思った理由は?

A 挑戦してみようと思った理由は2つあります。1つ目は、自分が1年生のときの「スタートアップセミナー自主自律」での、SAの先輩が非常に魅力的な方だったからです。わたしもこの先輩のように、SAに挑戦することによって、自分の志をしっかり持った女性に成長したいと思いました。2つ目は、自分の大学生活の中で、今まで経験したことがないことに、勇気をもって挑戦し、やり遂げたいと思ったからです。特に自分が1年生のときには、オンライン授業がメインの大学生活(1)を過ごし、な

特徴1 学科横断の能動的学習

板橋キャンパスの新生入生全員が学科横断の協同学習により学ぶことで、多様な関心・価値観に触れ、東京家政大学生としてのアイデンティティの基礎を築くことができるように授業計画を立てています。

これまでの大学教育の主流である、教員が学生に知識を教え込む(伝授する)「講義型」の授業形式ではなく、グループワークを中心とした、学生の能動的な学修への参加を取り入れた「アクティブ・ラーニング型」の授業形式をとっています。

特徴2 上級生の授業サポート

全クラスに上級生からスチューデント・アシスタント(以下SA)を1名配置しています。SAには、20分程度でこれまでの自分を振り返るとともに、これからの自分を新生入生に向けて発表してもらう機会を設けています。これは新生入生が「先輩」をロールモデルとし、これからの大学生活を見通せるようになることを目的としています。同時にSAにとっては、これまでの自分自身を振り返る機会にもなります。また新生入生に向けて発表を行うことにより、SAの「プレゼンテーション能力」成長につながるねらいがあります。

特徴3 教育改革の一貫

「スタートアップセミナー自主自律」は、家政

かなが新しいことに挑戦できなかったため、2年生になったら、新しいことに挑戦したいという気持ちを強く持っていました。

Q SAになり、授業サポートで特に気を配ってきたことは?

A 学生一人ひとりが、自分の意見だけを主張するのではなく、他のメンバーの意見も聞き、そして理解しながら話し合いをすすめているかを特に注意して、グループ活動時の巡回を行いました。また、プレゼンテーションなど、グループで協力して行う活動では、各グループの話し合いが順調に進んでいるか、迷っていることや困ったことはないか、学生一人ひとりの発言も含めて各グループの様子をよく観察しながらサポートを行いました。

Q SAで授業サポートを経験する中で、吉田さんの記憶に一番残っていることは何ですか?

A 第13回目の授業(2)が一番記憶に残っています。4月からSAとして関わってきた1年生の成長ぶりを、各グループのプレゼンテーションからとても強く感じました。彼女たちが大学生活デビューから、これまでのように力をつけていったのかを振り返ることができた時間でした。また、自分自身が1年生であった時がとても懐かしく思い出され、時間の流れの早さを実感しました。そして自分自身も、もっと頑張りたいかなければならないと考えさせられました。

学部・栄養学部・人文学部の全学科から選ばれた約30名の専任教員が科目を担当します。科目の担当教員は毎年代わりまわりますので、この科目を担当することが本学のFD活動(3)の一環となることも期待しています。(本学におけるFDの定義: 建学の精神である「自主自律」の道を歩むことのできる人材、生活信条としての「愛情・勤勉・聡明」を実践できる人材の育成に向けて行われる、組織的かつ継続的な教育改革の取り組みの総称です。)

より質の高い授業を目指して

「スタートアップセミナー自主自律」は、授業アンケートや担当教員・SAの声などから、毎年授業計画の見直しが行われています。コロナ禍の影響により、2020年度、2021年度はオンラインでの授業実施を余儀なくされましたが、その間にも、科目の特徴とねらいが達成されるように授業計画に工夫を凝らして授業を実施してきました。

2022年度は2年ぶりに対面形式で授業を実施することができました。対面形式での授業実施により、学生同士が顔を合わせてより活発な意見交換ができた一方で、対面形式になったからこそ見直すべき点も明らかになってきました。今後も「スタートアップセミナー自主自律」に関する意見を受け取れ、またこれまでの経験を活かしながら、より質の高い授業を行うことができるよう、尽力していきます。

(1) 狭小校舎でも同名科目が開講していますが内容が少し異なります。
(2) FD活動: 大学での教育の質を改善・向上させるための取り組みのこと。

Q SAの活動を通じて吉田さん自身が成長できたと感じることはありますか?

A 以前よりも人前で話すことに抵抗感がなくなりました。そして相手に対して、自分の考えをどのようにしたら分かりやすく、また的確に伝えられるかを理解できるようになりました。SAを経験する前までは、人前で話す時にも緊張してしまい、大きな声で自信を持って自分の意見を言うことが得意ではありませんでした。ですが「スタートアップセミナー自主自律」では、SAとして、1年生に向かってアドバイスや感想など、自分の意見を述べる機会が多かったため、恐れずに自分の意見を相手に伝えることの大切さとそのメリットを学びました。

また、SAの経験から、自分に対する自信や、自分の将来の目標を、もっとポジティブに考えて良いということを学びました。私は時々自分のことや将来について、気分が落ち込んでいるときにネガティブに捉えてしまっていたことがあります。ですが、さまざまな個性を持った1年生や担当の先生と出会ったことによって、自分の個性を大事にすることの重要性、そして自分を大事にするながらも、いかに夢を大きく持ち、自分自身を成長させていくかということを深く考えることができたと思います。

(1) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインで授業を実施しました。
(2) 各グループが授業の集大成となるプレゼンテーションを行いました。

中学校・高校 「防犯訓練講話」等 実施

青少年を取り巻くインターネット環境の急速な変化や、スマートフォンなどの携帯端末の普及により、「自撮り被害」などのトラブルに巻き込まれ、被害者となるケースが増加していることから、東京都民安全推進部ファミリーールによる、高校生7月12日「生活セミナー」、中学生7月16日「スマホ安全教室」を実施しました。

内容は両日ともに、SNSなどによるトラブル事例やそれから身を守るための防犯策などを踏まえた、正しい使い方、また親子におけるコミュニケーションの重要性や家庭でのルール作りの必要性などの基本的な知識のほか、自撮り被害などに係る性被害の実態や防犯策をスライドや動画を見ながら講師の先生から分かりやすく説明していただきました。

さらに、通学路・電車内・駅構内などで不審者・痴漢・盗撮などの対策や被害にあったときの対応を学び、安心安全な登下校につなげるために、7月19日に板橋警察署生活安全課のスクールサポーターの方を講師としてお招きし、「防犯訓練講話」を実施しました。電車内での具体的な痴漢対策などを動画を見ながら説明していただきました。

痴漢対策として、大きな駅の改札口に近い車両は避ける（痴漢にとって逃げ道が作りやすい）、車両の端や連結部に近いところは避ける（奥まった場所で、被害者にとって逃げ場がなく、ほかの乗客の目が届きにくい）、ドア付近は避ける（一番混雑する場所なので、接触が容易。特に、急行・快速など停車しない区間が長い場合や、停車しても開かないドア付近は要注意）などを教えていただきました。

また、夏休みに向けて新宿、渋谷、池袋などの繁華街は特にいろいろな被害を受けやすいので、できるだけ出向かないようにとの説明がありました。

「生活セミナー」「スマホ安全教室」「防犯訓練講話」いずれも生徒たちはメモをとるなどして、真剣に聞き入っていました。今後の安心安全な生活に役立つ有意義な時間となりました。



中学校・高校 保健講話実施 ～歯・心・性～

突然ですが、タイトルの「歯・心・性」の共通点はなんですか。

- ① 附属女子中高で学べること
- ② 保健講話のテーマ
- ③ 知っているようで意外と知らないこと

正解は①～③の全部です。附属女子中高では、今年度下記のテーマで保健講話を実施しました。いずれのテーマも授業で触れており、女子中高生にも身近なものです。しかし、改めて詳しく考える機会が少なく、人知れず悩むことが多いものでもあります。保健講話では、そんな「知っているようで意外と知らない」各テーマの分野で活躍するプロフェッショナルから、直接講演を伺います。どの保健講話も、皆一生懸命にメモをとり、興味深く話を聞いていました。

保健講話を実施する目的は、各テーマについて知識を身に着けること、悩んだとき困ったときの対応を学んでおくことです。「自分1人で悩まないでほしい」という想いや、「成長のきっかけに繋がってほしい」という願いも込めながら実施しました。実際に、心の健康の事後アンケートでは、「心の健康に関することで困ったり誰かに相談されたりしたら、大人を頼るということを覚えておきたい」「ストレスと上手に向き合い、

自分を成長させたい」といった感想がありました。

「保健室」と聞くと、養護教諭と生徒1対1の個別の関わりを思い浮かべる方も多いかと思いますが、しかし、附属女子中高では保健講話のように、集団へのアプローチも行っています。

個別と集団のアプローチが叶う本校の特色を活かして、大切な生徒一人ひとりが心身ともに健康で、自分らしく学校生活を送ることを支援しています。



〈高1学年〉心の健康：精神科看護師 上松氏による講演



〈高2学年〉性教育：助産師 やまがた氏による講演の資料



〈中1学年〉歯科講話：学校歯科医 松山医師による講演

附属女子中学校・高等学校 緑苑祭 『笑顔輝け！青春forever♡』

令和4年10月22日(土)・23日(日) 実施予定

令和4年度 緑苑祭テーマ

緑苑祭実行委員会・緑苑祭参加団体説明会は5月2日から実施され、7月までに実行委員会が2回、参加団体説明会が2回行われました。

本年度の緑苑祭テーマは、「笑顔輝け！青春forever♡」となりました。附属中高では、緑苑祭実行委員会を中心として、各クラスにアイデアをつくる形で、毎年の緑苑祭のテーマを決めています。高校25クラス、中学9クラスから色々なテーマが提出されました。令和4年度は、コロナ前に近い形で緑苑祭を実行できるということで、附属中高生の思いが表れたテーマが選ばれました。

緑苑祭ポスターコンクール

本年度の緑苑祭ポスターには、全部で11作品の応募がありました。7月19日に、附属中高の全生徒による投票が行われ、以下の作品が1位～3位に選ばれました。

緑苑祭ポスターコンクール2022 当選作品



高校 3年G組 T.Cさん



高校 3年C組 S.Yさん



高校 2年E組 S.Kさん

中学校 芸術鑑賞会

附属中学では、情操教育の一環として、「芸術鑑賞会」を年に一度実施しています。ミュージカル、オーケストラ、バレエの3種類を年度ごとにローテーションさせ、3年間ですべてが鑑賞できるという行事です。近年はコロナ禍のため中止せざるを得ない状況が続いていましたが、今年度は3年ぶりに開催することができ、去る7月14日に劇団四季のミュージカル「アラジン」を鑑賞しました。



開演の幕が上がるや否や、生徒たちは夢と魔法の世界に引き込まれていきました。アラジンの明るさと何事にもあきらめない気持ちは勇気を、ジャスミンの途な思いは愛情を、そしてランプの精のジーニーは自由であることの喜びを私たちに伝えてくれました。今回の芸術鑑賞会を通して、人にとって大切な感情を呼び起こし、生徒たちは心豊かな女性に一歩近づいたのではないかと感じています。

なお、来年度の芸術鑑賞会では、オーケストラを鑑賞する予定です。

高校 勉強合宿

附属高校では、例年8月末に「狭山αキャンプ（勉強合宿）」を東京家政大学狭山キャンパスの講義室、セミナーハウスを利用して4泊5日で実施しています。一昨年と昨年と新型コロナウイルス感染症の影響で行えていませんでしたが、今年3年ぶりに実施することができました。



宿舎の関係で狭山キャンパスではなく、多摩市永山の研修施設を利用して行い、高校1年生から3年生、計39名で1日10時間以上の自学自習を中心に、教員による講習や面談などを行いました。高校1年生は先輩の様子を見て高校における勉強の姿勢を学び、高校2年生は希望進路に向けて受験勉強を始めるきっかけに、そして高校3年生は受験に向けて夏のラストスパートに。日数は例年よりも短く2泊3日ではありましたが、多摩丘陵の見渡せる恵まれた環境で、同じ志を持つ友人とともに、今までにない勉強時間を体験することで自信をつけ、学習の自主自律を実践しました。

2023 入試情報

※出願の際はホームページより必ず学生募集要項をご確認ください。

東京家政大学・東京家政大学短期大学部ではさまざまな入試方法を導入しています。

グローバル入試

インターネット出願実施

内 容 高校の成績、志望する各学科・科・専攻への理解・意欲・資質・学力等、総合的に判断する入試です。

学部・学科・科・専攻		出願資格	全体の学習成績の状況	選抜方法
児童学部*	児童学科*	次の各要件を全て満たしている女子。	3.3以上	・書類審査(調査書・推薦書・自己申告書) [50点] ・国語・英語 [100点]* ・面接(集団) *書類内容を確認
	児童学専攻* 育児支援専攻*			
栄養学部	初等教育学科*	●2023年3月に高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業見込みの者。	3.5以上(注1)	・書類審査(調査書・推薦書・自己申告書) [50点] ・国語・英語 [100点]* ・面接(個人) [50点] 部活動等についての資料持参(造形表現学科のみ)
	栄養学科 管理栄養学科		3.5以上(注2)	
家政学部	服飾美術学科 環境教育学科 造形表現学科	●各学部・学科の定める学習成績の状況を満たす者。	3.5以上(注3)	・書類審査(調査書・推薦書・自己申告書) [50点] ・国語・英語 [100点]* ・面接(個人) [50点] 部活動等についての資料持参(造形表現学科のみ)
	英語コミュニケーション学科 心理カウンセリング学科 教育福祉学科		3.3以上(注4)	
人文学部	看護学科	●本学を第一志望として入学を強く希望し、本学の学問に深い興味を持ち、入学後も積極的に学問に取り組み、その能力を発揮できる者。	3.3以上	・書類審査(調査書・推薦書・自己申告書) [50点] ・国語・英語 [100点]* ・面接(個人) *書類内容を確認
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 理学療法学専攻		3.3以上	
健康科学部	子ども支援学科	●出身高等学校長の推薦する者。	3.3以上	・書類審査(調査書・推薦書・自己申告書) [50点] ・国語・英語 [100点]* ・面接(個人) [50点]
	保育科 栄養科		3.0以上	
短大	保育科		3.0以上	・書類審査(調査書・推薦書・自己申告書) [50点] ・面接(個人) [100点]
	栄養科		3.0以上	

(注1) 3.5以上 ただし、3.0以上で、国語、数学、外国語、家庭科のうち1教科以上に、4.0以上の学習成績の状況があれば出願可能とする。
 (注2) 3.5以上 ただし、3.0以上で、国語、数学、理科のうち1教科以上に、4.0以上の学習成績の状況があれば出願可能とする。
 (注3) 3.5以上 ただし、3.0以上で、芸術、体育、国語、外国語のうち1教科以上に4.0以上の学習成績の状況があれば出願可能とする。
 (注4) 3.3以上または次のいずれか取得している者
 英検準2級以上、TOEIC®Listening&Reading Test...400点以上、TOEIC®Bridge Test...70点以上、GTEC...690点以上、GTEC CBT...510点以上、TEAP...135点以上
 ※国語(情報観点含む)および英語(数的観点含む)

出願期間	試験日・試験場	合否発表	入学手続締切
11/1(火)~11/7(月) 郵送必着	11/13(日) 板橋キャンパス	12/1(木)10:00~ Web(パソコン・スマートフォン)	12/6(火) 必着

指定校推薦

インターネット出願実施

内 容 実績等をもとに大学が指定した高等学校に推薦を依頼する推薦入試です。
 実施学科・科 大学:全学科 短大:全科 ※該当の高等学校のみ。詳細は高等学校にお問い合わせください。

総合型選抜(共通テスト利用型)

インターネット出願実施

内 容 高等学校での活動や自分自身の特技・長所や将来の目標を記入した自己推薦書と高等学校からの調査書(学習成績の状況)を評価します。さらに、大学入学共通テスト(学科・科指定2科目/3科目)の得点も併せて選抜します。
 ※併願制ですので、出願後も他大学等への受験が可能です。

自己推薦書(10点)	+	学習成績の状況(10点)	+	大学入学共通テスト	=	合否結果
出願:1/10~31(自己推薦書提出)		大学入学共通テスト受験:1/14・15		合否発表:2/13		

お問い合わせ

東京家政大学 アドミッションセンター

TEL: 03-3961-5228 (直通)

nyushi@tokyo-kasei.ac.jp



大学入学共通テスト利用入試

インターネット出願実施

内 容 大学入試センターの実施する試験を受験し、その成績を大学・短大が利用して選抜する入試です。

POINT 1 大学入試センターが実施する大学入学共通テストを受験しなければ、この入試制度を利用することはできません。必ず大学入学共通テストを受験してください。

POINT 2 選択科目を規定数以上受験している場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。本人が申し出る必要はありません。

POINT 3 各学科・科・専攻の利用科目を満たしていれば、同じ日程の中で複数併願することができます。

POINT 4 「選択科目の中で2教科2科目、ただし国語、外国語いずれか1教科1科目選択必須とする」とあるものについては、国語と外国語の2科目の組み合わせでもよい。

また、下記のように複数の科目を受験した場合は①②の2科目の合計点で選抜します。

例: 国語・英語・日本史B・生物の4科目を受験した場合

- ①国語と英語を比較し、国語が点数の高い科目であれば国語の成績を利用
- ②英語、日本史B、生物の中で一番点数の高い科目の成績を利用

一般選抜

インターネット出願実施

内 容 一般選抜は大学・短大の両方に出願でき、かつ複数の学科・科・専攻に出願できます(看護学科はリハビリテーション学科とのみ併願可)。複数学科・科・専攻に出願した場合はそれぞれに合否結果を発表します。

1つの試験成績を利用して複数の学科・科・専攻に出願できます。

同日併願 1つの受験で同じ試験日の複数の学科・科・専攻に出願できます。
 統一地区・1期(共通テスト併用型)・2期(共通テスト併用型)それぞれで同日併願ができます。
 ※看護学科の一般選抜は、3科目中高得点2科目の成績を使用し、リハビリテーション学科のみ併願ができますが、それ以外の他学科・科・専攻との併願はできません。
 ※学科・科・専攻によって指定する入試科目が異なります。1つの受験で複数学科を出願(同日併願)する場合は、各々の学科・科・専攻の指定した科目を受験してください。入試科目の確認をしてください。

他日併願 試験日や期が違うものは各々の試験を受験します。期が同じでも試験日が違うものは2日間出願できます。
 ※看護学科と他学科・科・専攻は、リハビリテーション学科を除いて同日併願できませんが、他日併願はできます。

1 統一地区

試験日 1/26(木)・1/27(金)

●統一地区は10地区の試験会場で実施
 ※看護学科は1/26・1/27ともに東京板橋のみ受験可

- 1/26 実施地区 水戸・長野・富山・高崎・宇都宮・東京板橋
- 1/27 実施地区 仙台・新潟・甲府・静岡・東京板橋

- 受験日が地区により異なるため、1/26・1/27の2日間受験することも可。
 - 看護学科は3科目受験のため、1/26・1/27ともに東京板橋のみの受験となります。
 - 1/26・1/27、2日間連続して同じ学科・科・専攻を受験した場合、各々の試験日の合計点で高得点の試験日の点数を使って選抜。
- ※造形表現学科は1/26は学力試験、1/27は学力試験または実技試験となります。1/26に学力試験を、1/27に実技試験を受験した場合は、〈学力〉と〈実技〉で別々の入試形態となるため、それぞれの日程ごとに選抜を行います。実技試験は東京板橋会場。
 ※各実施会場の詳細については入学試験要項をご確認ください。

2 1期(共通テスト併用型)

●個別試験+共通テスト(1科目or2科目)
 但し、1科目は本学個別試験(国・数・英から選択、但し英語コミュニケーション学科と看護学科は英語必須)で、もう1科目(看護学科は2科目)は共通テストの科目を利用(個別試験での受験科目以外)します。

3 2期(共通テスト併用型)

- 大学 共通テスト(2科目or3科目)+総合問題(記述含む)+学習成績の状況
- 短期大学部 総合問題(記述含む)+学習成績の状況



未来を担う子どもたちの成長を育む 「子ども大学さやま・いるま」

「子ども大学さやま・いるま」は、狭山市・入間市の教育委員会と本学（地域連携推進センター）とで実行委員会を組織し開催しています。子ども大学は、平成14年にドイツのチュービンゲン大学で始まり、日本では平成21年に誕生。平成22年から、埼玉県の推進により、地域の大学や市町村等が連携して子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会提供、地域で子どもを育てる仕組み創りの活動が開始され、地域連携推進センターが担当しています。

本学は、平成23年度に始まり、本学教員・地域の専門家が「はてな学・ふるさと学・生き方学」の3つのキーワードにより、毎年、大学の特色を活かした講義を開発・実施しています。例年、定員を超える応募があり、保護者の方々にも好評を得ています。今年度で第11期目を迎え、7月23日に入学式の後、1日目がスタートし、タグラグビー体験の他、物づくり、看護のお仕事体験、多文化理解の体験など、盛り沢山の講義が大盛況のうちに修了しました。今後も、地域と連携・一体となって、教育支援に努めてまいります。



すきなもののコレクション



タグラグビー



赤ちゃんのお世話体験

保育園・かせい森のおうち みどりぐみ お泊り保育

7月8日～9日、早い夏の訪れの中かせい森のおうち5歳児のお泊り保育を行いました。保育者も子どもたちもドキドキワクワクしながらその日を迎えました。

子どもたちが力を合わせて、相談し、工夫を重ねてお泊り会を指折り楽しみにする姿に、保育者は励まされ、子どもたちが皆元気でその日を迎えられるようにと祈るような気持ちで1ヶ月の準備期間を見守っていました。

当日の午前中のプラネタリウムで夏の星座や星のお話に触れ、午後の園庭でのお祭りでは、輪投げ、ヨーヨー釣り、くじびきなど、ボランティア学生のお手伝いもあり、3歳さん、4歳さんも一緒に楽しむことができました。

子ども支援学科の学生と一緒にこの日のために作ったお神輿を子どもたちが担いで、お祭りの盛り上がりも最高潮に達しました。「ワッショイ、ワッショイ！」と初めて担ぐ子どもたちの笑顔が輝きました。森のおうちで過ごした一泊の経験が、より子どもたちを逞しく育ててくれたようです。これから子どもたちの心を深く広く育む森のおうちの保育を積み重ねてまいります。



東京家政大学在學生特待生奨学金授与式

令和4年度 東京家政大学・東京家政大学短期大学部 在學生特待生奨学金授与式が令和4年6月29日に執り行われました。

今年度は感染対策に配慮し、三木ホールで列席者を最小限とし、授与者は各学科・科より選出された板橋校舎特待生60名（当日の参加者は57名）でした。

始めに三浦副学長・学生支援センター所長より特待生奨学金についての説明（*）があり、続いて井上学長より、広く社会に興味を持ちながら学園に貢献して欲しいとの話がありました。採用通知書の授与後、学修・教育開発センター兼古所長より学生CREDについての説明と特待生の中から学生CRED代表が活動紹介をしました。



* 在學生特待生奨学金は学園創立130周年を記念し創設された奨学金制度です。各学科・科より選考された学業・人物に優れた学生を学長が決定し、年間授業料の半額が給付されます。



東京家政大学 名誉教授称号授与式

令和4年6月29日、令和4年度 東京家政大学 名誉教授称号授与式が執り行われました。

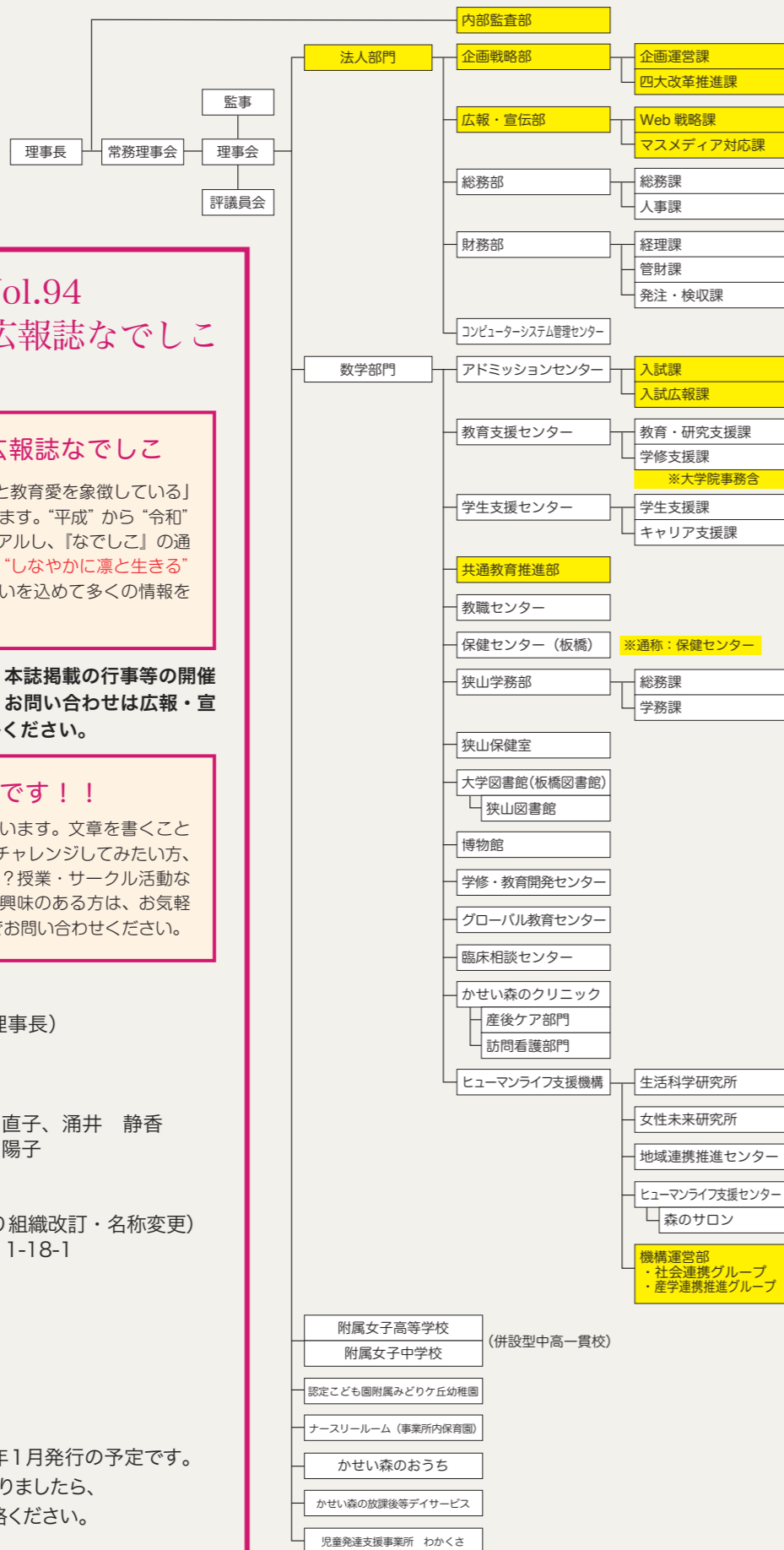
称号授与者：今留忍教授・井森澄江教授・原惠理子教授・山本和人教授

在職中の教育上の功績により、今年度は令和4年3月31日に退職された英語コミュニケーション学科・原惠理子教授、教育福祉学科・山本和人教授と井森澄江教授、看護学科の今留忍教授の4名の先生方に井上学長より、名誉教授称号が授与されました。

菅谷理事長、井上学長からのお祝いのご挨拶に続き、名誉教授からのご挨拶では、各先生方より着任当時から今日にいたるまでの本学での思い出などが披露され、和やかな雰囲気の中、閉式しました。最後に出席者全員で記念撮影を行い、名残惜しい中での散会となりました。



学校法人渡辺学園 東京家政大学・法人組織改訂 (2022.10.1～)



Tokyo Kasei Press Vol.94 学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ 2022年10月発行

Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ

創設時の校章に「愛を意味し、母性愛と教育愛を象徴している」撫子(なでしこ)の花がかたどられています。“平成”から“令和”になった2019年に広報誌へリニューアルし、『なでしこ』の通称名を付けました。これからの時代を“しなやかに凛と生きる”女性として社会で活躍できるように、願いを込めて多くの情報を発信していきます。

新型コロナウイルスの影響により、本誌掲載の行事等の開催が変更・中止になる場合があります。お問い合わせは広報・宣伝部(03-3961-5690)までご連絡ください。

学生記者 募集中です!!

広報・宣伝部では学生記者を募集しています。文章を書くことが好きな方、大学生活で新しいことにチャレンジしてみたい方、一緒に広報誌なでしこを作りませんか?授業・サークル活動などに支障がない形で参加可能です。ご興味のある方は、お気軽に広報・宣伝部(03-3961-5690)までお問い合わせください。

- 発行人 菅谷 定彦(学校法人渡辺学園 理事長)
- 編集責任者 岩井 絹江(広報・宣伝部 部長)
- Kasei Press WG 編集メンバー 門脇亜希子、吉村扶見子、川島 直子、涌井 静香、古角花亜菜、坂本 理恵、原田 陽子
- 編集・発行 学校法人 渡辺学園 広報・宣伝部 (10月1日より組織改訂・名称変更) 〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 電話: 03-3961-5690
- 制作・印刷 株式会社弘文社
- 表紙デザイン 坂本 理恵
- 広報誌なでしこ バックナンバー



次号95号は、2023年1月発行の予定です。掲載希望の記事がありましたら、広報・宣伝部にご連絡ください。

告知 「わたしの生き方 わたしたちの未来」

昨年度開催したオンライン講演会を今年度もオンラインにて開催いたします! 社会で活躍しているセンパイたちをお呼びして、これまでの歩みについて詳しくお話していただきます。大学で学び得たものを卒業後にどのように活かしているのか?センパイたちが考える未来とは?当日は、みなさんからの質問にも答えて頂きます。是非、ご参加ください。

参加費 無料

日時 令和4年11月24日(木) 15:30~17:00

会場 オンライン開催 (Zoom ウェビナー) 参加方法 事前登録が必要です。

登録締切 令和4年11月18日(金)

定員 在学生・教職員 200名 卒業生・一般 100名

登壇者 田口 伊津子氏 (本学卒業生・トキハソース株式会社代表取締役)
吉田 佳子氏 (本学卒業生・Giving tree主宰・管理栄養士)

お申込みはこちら↓



プログラム

第1部: 講演

センパイたちからこれまでの歩みや今にいたるターニングポイントについて講演頂きます。センパイたちの話を聞いて、自分の将来を想像したり、新たな選択肢を見つけたりするキッカケにしてみませんか?

第2部: 座談会

座談会では、皆さんからの質問にセンパイたちがお答えします!



お問い合わせ 東京家政大学女性未来研究所
E-mail: josei-mirai@tokyo-kasei.ac.jp

☆記事掲載希望の方へ

「Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ」へ各種募集・告知・報告等の記事を掲載希望の方は、広報・宣伝部まで原稿等をお寄せください。次号は2023年1月発行の予定です。よろしくお願いたします。<お問い合わせ先>広報・宣伝部(担当: 涌井) メール: wakui-s@tokyo-kasei.ac.jp

理事長コラム “世界を生きる”

学校法人渡辺学園理事長 菅谷 定彦

日経ニューヨーク特派員時代⑬

ニューヨークの日本人(下②)

同僚のゴルフボール、米女性のでん部直撃

日本経済新聞工業部(のち産業界)第一線記者時代、私は自動車グループのキャップ、1年下の河村有弘君は鉄鋼グループのキャップとして共に連日連夜、取材先への夜討ち朝駆けを続けていた。その戦友、河村君が私の1年遅れで増員のニューヨーク特派員として赴任したのは1972年(昭和47年)3月だった。

河村君は開成高校で柔道の選手としてならした生粋の江戸っ子。「いろいろあって1浪後、早稲田大学第一政治経済学部の新聞学科を経て新聞記者を志し、日経と読売とも合格して日経を選んだ。私は関西屈指の進学校、甲陽学院中

高校、早大第一政治経済学部政治学科時代を通じて硬式テニスで、文武両道の全国的プレイヤーとして名声を博し、河村君と同様新聞一本。朝日は入社試験最初の常識問題が非常識で気に入らず白紙で出して退室。日経は真面目にとり組んで「最優秀の成績」(当時の佃正弘編集局長の評)で日経に入社した。

日経工業部記者時代私は「三菱・クライスラー提携」「GM・いすゞ提携」の2つのスクープをものにし日本新聞協会賞などを受賞したが、河

村君は鉄鋼キャップ就任1週間後に「八幡・富士製鉄合併」を毎日新聞にスクープされる不運に見舞われた。しかしこの合併は公正取引委員会などの強い反対に直面、昭和43年3月末の「新日本製鉄発足」まで丸2年を要した。この間の八幡、富士両製鉄、公取および政財界を巻き込んだ一連の動きは河村君が全て先手を打って報道したことを彼の名譽のためには記したい。

ニューヨーク入りした河村君をまず連れていったのはマンハッタンのゴルフショップ。彼がゴルフをほとんどしないのは知ってはいたが、ニューヨーク特派員仲間や国連代表部、総領事館、企業のトップとのつき合いでゴルフが必要であることを1年間でわかったため、道具を買わせるためだった。

私が米国に持ち込んだ日本製のゴルフセットが使用1年で飛ばなくなったので購入したのはベン・ホーガンのフルセット。河村君には良いクラブを使わせないとすべやめる可能性があり、円も71年末のスミソニアン合意で1ドル=308円に上昇し、私がベン・ホーガンを買った時より円換算の出費は少なくて済むと説得。



日経ニューヨーク支局陣と訪米した成田専務(のち副社長)ら山一證券NYオフィスメンバーとの懇親ゴルフ後列左端が河村特派員、一人おいて菅谷、永田総局長、成田専務、武田特派員、1973年に赴任した棚橋特派員。(1973年5月、ニュージャージー州のヘイワース・ゴルフ倶楽部で)

高級クラブのウォルター・ヘーゲンのセットを買わせた。早速私のクイーンズ区のアパートから近いキセナ・パブリックコースに2人で出かけたのは5月初めだったと記憶している。

数ホール回ったところで太目の中年女性2人に追いつき、2人のボールがグリーンに乗って「OK」と手を上げホルルの外へ歩き出したところで見つけたかな河村君が打ったボールが珍しくまっすぐ飛び、グリーンを出かかった女性のお尻に2パウンドで当たった。「どっしり」と河村君が聞くので私はとっさに「走っていい」とりあえず謝ってこい」と伝えた。

これが失敗だった。河村君は自らの住所(当時マンハッタンの安ホテル)と電話番号を書いた紙を手渡し「何かあったら連絡を」と伝えた。ところが数日後医者からの診断書と請求書が届きそれも3〜4回続いて合計額は百数十ドルにのぼった。

村瀬二郎弁護士やフルブライト奨学生だった村松敦日本興業銀行事務所長ら米国通から「アメリカ人には簡単には謝罪しない方がよい」とアドバイスを受けていた私としては判断ミスで河村君に謝った。ただ逆に「真方が打って良いと手を上げ

たから打ったのだ」と言い張っていればもっと面倒なことになったかもしれない。

河村君が帰国後、男子プロとのプロアマ戦で当時トッププレーヤーだった尾崎直道選手とラウンドした時「河村さんのウォルター・ヘーゲンはプロでも使いこなせない難しいクラブだよ」と言われたと私に訴えた。私はこれに対し、ニューヨークのキセナで打ったアイアンはきれいな球筋で真つすぐ飛んだじゃないかと答へ、2人で大笑いした。

私の家内と2人の娘がニューヨークにいた昭和46年12月〜47年8月の間、河村君には数度自宅での夕食に誘った。その都度彼は高価ではないが5才と2才の娘が大喜びするみやげを持参するセンスの良さを持っていた。私の家内が妊娠・出産のため帰国、河村夫人が来米するまでの約2か月、ホテル代に首を上げたのが河村君から「菅谷さんのアパートに住まわせてほしい、家賃は半分程度払う」との申し出を受け、同居生活に入った。

一緒に住んで意外だったのは、掃除は丁寧、料理は例えば船便で運ばれるインスタントラーメンの青黒いカビをたわしでこすり取るのは私と一緒に、野菜と牛肉をそのままラーメンと煮るのではなく、油と中国しょう油でいためたあとでラーメンと煮るなどの工夫もある。工業部記者時代から相性が良かったこともあるが、当時の日経ニューヨークの永田農総局長(編集以外のニューヨーク支局代表、のち日経BPP社長)が「あれだけ個性の強い2人が仲良く同居しているのは不思議」と評するほど円満な生活が続いた。

ただその後の1年半、2人の間で忘れがたい事件がいくつか発生、このてん末は次回。

※次号は日経「ニューヨーク特派員時代」⑭
「ニューヨークの日本人(下③)」です。